

新高2 数学のクラス 休憩中の課題

概要

プログレス 数学II を用いて、以下の手順に従って学習を行うこと。解いた問題は、次回授業時に宿題としてチェックする。(前回の宿題も取り組むこと)

内容

① 剰余の定理

整式 $P(x)$ を $x-a$ で割った余りは $P(a)$ となる。
に於いて、P22 例題1で復習した後、次の問題を解く

課題 P23 類題1

② 因数定理

整式 $P(x)$ が $x-a$ を因数にもつ $\Leftrightarrow P(a) = 0$ を用いて、高次方程式の解法を P23 例題2で復習した後、次の問題を解く

課題 P23 類題2

③ 複素数の相等条件

a, b が実数のとき

$$a + bi = 0 \Rightarrow a = b = 0$$

を P13 例題2で復習した後、P24 例題4の解答(別解は除く)をよく読んで理解した上、次の問題を解く

課題 P24 類題4

④ 方程式 $x^3 = 1$ を解いて、そのうちの虚数解(の1つ)を ω (オメガ) とおいたとき、次の性質をみたすことを確認する

$$\textcircled{1} \omega^3 = 1 \quad \textcircled{2} \omega^2 + \omega + 1 = 0$$

この①, ②を用いて、P24 例題3の解答を理解した上、次の問題を解く

課題 P24 類題3

⑤ P25 演習問題の次の問題に取り組む

課題 P25 問題 5 と 6

以上

概要

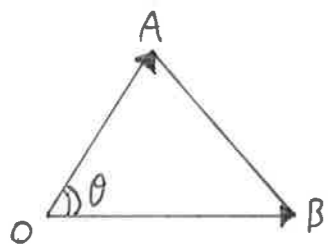
プロダクト数学Bを用いて、以下の手順に従って学習する
 解いた問題は、次回授業時に宿題として出す

(前回授業の課題も取り組むこと)

内容

□ ベクトルの内積の定義 (下記の説明を熟読せよ)

下図において、 $\angle AOB = \theta$ とする



このとき、

$$|\vec{OA}| \times |\vec{OB}| \times \cos \theta$$

の値を \vec{OA} と \vec{OB} の内積 とする

\vec{OA} と \vec{OB} の内積は $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$ と記す。

つまり、

$$\vec{OA} \cdot \vec{OB} = |\vec{OA}| \times |\vec{OB}| \times \cos \theta$$

また、 \vec{AB} と \vec{AC} の内積 $\vec{AB} \cdot \vec{AC}$ は、 $\triangle ABC$ において、

$$\vec{AB} \cdot \vec{AC} = |\vec{AB}| \times |\vec{AC}| \times \cos \angle BAC$$

と定める。

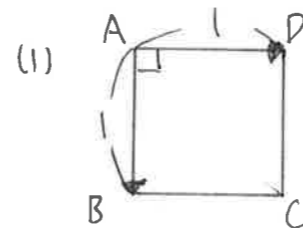
P38 例題4

1辺の長さが1の正方形 ABCD において、
 次の内積を求めよ

(1) $\vec{AB} \cdot \vec{AD}$

(2) $\vec{AB} \cdot \vec{AC}$

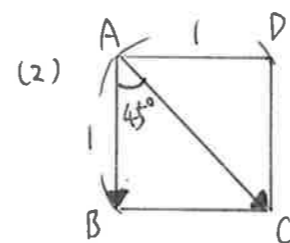
解答・解説



$\angle BAD = 90^\circ$ である

内積の定義より

$$\begin{aligned} \vec{AB} \cdot \vec{AD} &= |\vec{AB}| \times |\vec{AD}| \times \cos \angle BAD \\ &= 1 \times 1 \times \cos 90^\circ \\ &= 1 \times 1 \times 0 \\ &= \underline{\underline{0}} \end{aligned}$$



$\angle BAC = 45^\circ$

$AB = 1, AC = \sqrt{2}$ である。

内積の定義より

$$\begin{aligned} \vec{AB} \cdot \vec{AC} &= |\vec{AB}| \times |\vec{AC}| \times \cos \angle BAC \\ &= 1 \times \sqrt{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} \\ &= \underline{\underline{1}} \end{aligned}$$

この解説を参考に次の問題を解け

課題 P39 類題4

2 2つのベクトルの存在角の定義 (熟読せよ)

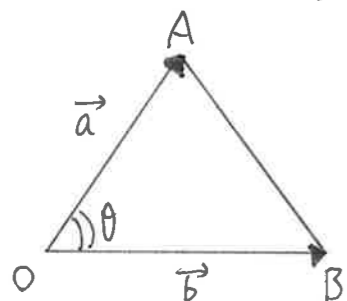
$\vec{0}$ でない 2つのベクトル \vec{a}, \vec{b} に対し

$$\vec{a} = \vec{OA}, \quad \vec{b} = \vec{OB}$$

とし、点 A, B を定める (O は基準の点)

このとき $\angle AOB = \theta$ を \vec{a} と \vec{b} の存在角 とし

存在角は $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の範囲とする



存在角 $\theta = 0^\circ$ のとき

\vec{a} と \vec{b} は 同じ向き

$\theta = 180^\circ$ のとき

\vec{a} と \vec{b} は 逆向き とす

\vec{a} と \vec{b} の内積の定義

\vec{a} と \vec{b} の存在角を θ とするとき

\vec{a} と \vec{b} の内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$$

と定める

P38 例題3の解答を熟読し、次の問題を解け

課題

P38 類題3

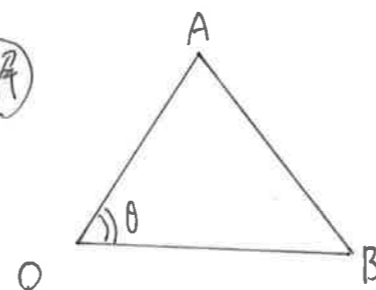
3 内積と余弦定理の関係 (熟読せよ)

2

問 $\triangle OAB$ において、以下の式が成り立つことを示せ

$$\vec{OA} \cdot \vec{OB} = \frac{|\vec{OA}|^2 + |\vec{OB}|^2 - |\vec{AB}|^2}{2}$$

解



$\angle AOB = \theta$ とかく

余弦定理 より

$$AB^2 = OA^2 + OB^2 - 2 OA \cdot OB \cos \theta \quad \dots \textcircled{1}$$

$OA = |\vec{OA}|, OB = |\vec{OB}|, AB = |\vec{AB}|$ により

$$|\vec{AB}|^2 = |\vec{OA}|^2 + |\vec{OB}|^2 - 2 |\vec{OA}| |\vec{OB}| \cos \theta$$

ここで、内積の定義 より

$$\vec{OA} \cdot \vec{OB} = |\vec{OA}| |\vec{OB}| \cos \theta \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ② より

$$|\vec{AB}|^2 = |\vec{OA}|^2 + |\vec{OB}|^2 - 2 (\vec{OA} \cdot \vec{OB})$$

したがって

$$\vec{OA} \cdot \vec{OB} = \frac{|\vec{OA}|^2 + |\vec{OB}|^2 - |\vec{AB}|^2}{2} //$$

4 ベクトルの成分表示の復習

前回までの授業ノートを読み返して、ベクトルの成分表示の復習をせよ。その上で、P39 例題 1 を参考に、次の問題を解け

課題 P38 類題 1

5 成分表示と内積 (熟読せよ)

問 $\vec{a} = (a_1, a_2), \vec{b} = (b_1, b_2)$ と成分表示したとき内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ が次の式で表されることを示せ

$\vec{a} \cdot \vec{b} = a_1 b_1 + a_2 b_2$

解 $\vec{a} = \vec{OA}, \vec{b} = \vec{OB}$ とし点 A, B を定める
このとき

$|\vec{OA}|^2 = |\vec{a}|^2 = a_1^2 + a_2^2$
 $|\vec{OB}|^2 = |\vec{b}|^2 = b_1^2 + b_2^2$
 $|\vec{AB}|^2 = |\vec{b} - \vec{a}|^2 = (b_1 - a_1)^2 + (b_2 - a_2)^2$
 $= (a_1^2 + a_2^2) + (b_1^2 + b_2^2) - 2(a_1 b_1 + a_2 b_2)$

③ で示した $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = \frac{|\vec{OA}|^2 + |\vec{OB}|^2 - |\vec{AB}|^2}{2}$ に代入して

$\vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{OA} \cdot \vec{OB}$
 $= \frac{(a_1^2 + a_2^2) + (b_1^2 + b_2^2) - \{(a_1^2 + a_2^2) + (b_1^2 + b_2^2) - 2(a_1 b_1 + a_2 b_2)\}}{2}$
 $= a_1 b_1 + a_2 b_2 //$

この公式を用いて、P39 例題 5 (1) の解答を参考に、次の問題を解け

課題 P39 類題 5 (1)

6 P39 例題 5 (2) (熟読せよ)

$\vec{a} = (1, 2), \vec{b} = (1, -3)$ のとき \vec{a}, \vec{b} のなす角 θ を求めよ

解 公式より $\vec{a} \cdot \vec{b} = 1 \cdot 1 + 2 \cdot (-3) = -5$
 $|\vec{a}| = \sqrt{1^2 + 2^2} = \sqrt{5}$
 $|\vec{b}| = \sqrt{1^2 + (-3)^2} = \sqrt{10}$

内積の定義 $\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$ より
 $-5 = \sqrt{5} \cdot \sqrt{10} \cos \theta$
 $\cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{2}}$ より $\theta = 135^\circ$

これを参考に、次の問題を解け

課題 P39 類題 5 (2)